

1日限りのコンビ結成

2人の校長 コント熱演

佐世保

研究大会 500人沸く

佐世保市の小学校校長2人が結成した異色のコントコンビ「ザ・コウチョーズ」が11日、同市三浦町のアルカスSASEBOであった県校長会研究大会佐世保大会で、ついに「デビュー」を果たした。2人が汗をかきながら舞台上で見せたプロ顔負けの熱演に約500人の校長先生たちは大爆笑。この日だけのコンビだったが、「笑いで楽しい学校にしたい」という狙いは会場に伝わったようだ。

大会に講師として招かれ「実践してもらおう」とコントコンビに選ばれた。

同市石坂町の放送作家海老原靖芳さん(65)が「笑い」の力をテーマに講演するに当たり、「どうせなら実

践してもらおう」とコントコンビに選ばれた。

約10分間の舞台を終えた2人は「心臓が口から飛び出なくてよかった」(吉本さん)。「これでお笑い界に未練はない」(松瀬さん)と最後まで笑いを誘っていたが、海老原さんは「2人の一生懸命さが伝わったし、人を楽しませようとする真剣さはプロ以上だった」と絶賛していた。



●舞台上で熱演する「ザ・コウチョーズ」の「笑い」の力を語った海老原靖芳さん

哲也さん(59) || 吉井南小 || 吉本の役で話は進み、「どうされましたか」と医者役の吉本さんが何度も尋ねても患者役の松瀬さんは無言だったので「あなたは、へんとうせん」です」と吉本さん。駄じゃれを使った軽妙な掛け合いが続き、オチの度に大きな笑いと拍手に包まれた。

見ている福島養源小(松浦市)の稲栄浩保校長(53)は「笑いのある学校は良い」と、2人の先生が見せてくれた。自分も楽しい学校経営をしたい」ときわ台小(西海市)の山脇比富美校長(59)は「生徒が老人ホームと交流をする時に『笑顔が一番の薬』と教わる。やっぱり笑顔は大事」と感心しきり。コントの後、海老原さんは「2人が今までにない経験をして、笑顔になったことが大事。コミュニケーションが取りにくい世の中だが、長崎の教育界は違なんだ」というところを見せてほしい」と会場に呼び掛けていた。(後藤希)